

資源管理基本方針の一部を変更する告示案についての意見・情報の募集について

令和8年4月
水産庁

第1 今回の変更事項

変更事項 : ずわいがに5資源に係る資源管理の目標、漁獲シナリオ等の変更（変更箇所）

別紙2-17 ずわいがに太平洋北部系群

別紙2-18 ずわいがに日本海系群A海域

別紙2-19 ずわいがに日本海系群B海域

別紙2-20 ずわいがに北海道西部系群

別紙2-21 ずわいがにオホーツク海南部

このほか、修辭的な修正や必要な附則を規定する予定。

第2 今後のスケジュール

4月14日から5月14日まで：パブリックコメントの実施

5月中旬：水産政策審議会に諮問

6月上旬から中旬：官報掲載

【変更事項 1】 ずわいがに 5 資源に係る資源管理の目標、漁獲シナリオ等の変更

1 変更の趣旨

- (1) 資源管理基本方針（令和 2 年農林水産省告示第 1982 号）の本則の第 9 の規定により、「農林水産大臣は、直近の資源評価、最新の科学的知見、漁業の動向その他の事情を勘案して、資源管理基本方針についての検討を、当該資源管理基本方針に記載されているそれぞれの水産資源についておおむね 5 年ごとに行い、必要があると認めるときは、これを変更する」こととされている。特定水産資源である、ずわいがに太平洋北部系群、ずわいがに日本海系群 A 海域、ずわいがに日本海系群 B 海域、ずわいがに北海道西部系群及びずわいがにオホーツク海南部については、5 年ごとの見直しのため、令和 7 年 6 月から令和 8 年 3 月にかけて、資源管理基本方針の本則の第 8 の 1 に基づく「資源管理の方針に関する検討会」を複数回開催し、最新の資源評価に基づく資源管理の目標の案及び資源水準の値に応じた漁獲圧力（資源に対する漁獲の影響の大きさを表す係数をいう。以下同じ。）の決定方式（以下「漁獲シナリオ」という。）の案について議論した。その結果、研究機関から提案された目標管理基準値等を採用すること等が取りまとめられた。
- (2) 上記「資源管理の方針に関する検討会」の取りまとめを踏まえ、ずわいがに太平洋北部系群、ずわいがに日本海系群 A 海域、ずわいがに日本海系群 B 海域、ずわいがに北海道西部系群及びずわいがにオホーツク海南部の資源管理の目標や漁獲シナリオ等を定める資源管理基本方針の「別紙 2-17」、「別紙 2-18」、「別紙 2-19」、「別紙 2-20」及び「別紙 2-21」に関連する規定について、所要の変更を行う。

2 変更の内容

変更の内容は、別添のとおり。

<参考：資源管理の方針に関する検討会の取りまとめ>

（ずわいがに太平洋北部系群）

- 資源管理基本方針の別紙 2-17 を以下のとおり見直しすることとする。
 - 第 3 の資源管理の目標は、資源評価に基づき研究機関から提示されている資源管理目標の案を採用する。
 - 第 4 の漁獲シナリオは、現行のシナリオ※を継続することとする。
 - ※この資源をとることを目的とする操業を避ける。
 - ※この資源をとることを目的とする操業が行われていない平成 23 年（2011 年）以降の最大漁獲量を考慮して T A C を算定する。

（ずわいがに日本海系群 A 海域）

- 資源管理基本方針の別紙 2-18 を以下のとおり見直しすることとする。
 - 第 3 の資源管理の目標は、資源評価に基づき研究機関から提示されている資源管理目標の案を採用する。

- ② 第4の漁獲シナリオは、親魚量が10年後の2036年に、50%以上の確率で目標管理基準値を上回るよう、漁獲圧力を調整する。 β （漁獲シナリオにおいて、漁獲圧力を決定する際に用いる調整係数をいう。以下同じ。）は、0.8とし、資源評価において示される当該管理年度の資源量の予測値に、 $\beta = 0.8$ により得られる漁獲圧力を乗じた値が3,000トンを上回る場合は、3,000トンとするシナリオを採用する。

（ずわいがに日本海系群B海域）

- ・ 資源管理基本方針の別紙2-19を以下のとおり見直しすることとする。
 - ① 第3の資源管理の目標は、資源評価に基づき研究機関から提示されている資源管理目標の案を採用する。
 - ② 第4の漁獲シナリオは、親魚量が10年後の2036年に、50%以上の確率で目標管理基準値を上回るよう、漁獲圧力を調整する。 β は、0.7を採用する。

（ずわいがに北海道西部系群）

- ・ 資源管理基本方針の別紙2-20を以下のとおり見直しすることとする。
 - ① 第3の資源管理の目標は、研究機関から提案された値を基に時点修正及び修辭上の修正を行うこととする。
 - ② 第4の漁獲シナリオは、基本的に現シナリオを継続することとし、修辭上の修正等を行うこととする。

（ずわいがにオホーツク海南部）

- ・ 資源管理基本方針の別紙2-21を以下のとおり見直しすることとする。
 - ① 第3の資源管理の目標は、研究機関から提案された値を基に時点修正及び修辭上の修正を行うこととする。
 - ② 第4の漁獲シナリオは、現シナリオを継続することとし、修辭上の修正等を行うこととする。

（以上）